



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社セキュアヴェイル 上場取引所 東
 コード番号 3042 URL https://www.secuavail.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米今 政臣
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 大山 紀夫 TEL 03-6264-7180
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,098	6.8	△32	-	△38	-	228	-
2023年3月期	1,029	7.5	△34	-	△30	-	△44	-

（注）包括利益 2024年3月期 85百万円（-％） 2023年3月期 △51百万円（-％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	29.78	29.77	20.8	△2.8	△3.0
2023年3月期	△5.73	-	△4.1	△2.3	△3.4

（参考）持分法投資損益 2024年3月期 △6百万円 2023年3月期 5百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,482	1,145	77.2	148.83
2023年3月期	1,320	1,060	80.2	137.74

（参考）自己資本 2024年3月期 1,144百万円 2023年3月期 1,059百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△25	459	△1	1,200
2023年3月期	△41	3	△4	769

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00		-	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,240	12.8	50	-	48	-	33	△85.6	4.29

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年3月期	7,690,000株	2023年3月期	7,690,000株
2024年3月期	448株	2023年3月期	448株
2024年3月期	7,689,552株	2023年3月期	7,689,552株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	833	4.1	△62	—	△62	—	228	—
2023年3月期	800	△0.2	△0	—	△4	—	△279	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	29.77	29.76
2023年3月期	△36.39	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,395	1,108	79.3	144.00
2023年3月期	1,240	1,023	82.4	132.93

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,107百万円 2023年3月期 1,022百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復が続きました。他方、海外景気の減速、地政学リスクの顕在化、物価上昇や人手不足の深刻化等による影響が懸念され、今後の動向は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く情報セキュリティ市場の環境では、システムの脆弱性を突いたサイバー攻撃が後を絶たず、国内外の様々な企業や医療機関等で被害が発生しており、社会経済に与える影響は深刻化しています。セキュリティインシデントや情報漏洩は年々増加傾向にあり、情報セキュリティ対策やログ管理の重要性が益々高まっております。

このような状況下、当社グループは、24時間365日体制での運用・監視等のサービス提供からログ分析システム、ネットワーク運用監視システムの開発、提供、保守に至るまで、「安全でお役に立てるサービスをトータルに提供することで、お客様の事業の発展と社会に貢献すること」を経営理念に掲げ、事業を行ってまいりました。

当連結会計年度におきましては、前期より引き続き、既存顧客とのストック型サービス(セキュリティ運用・監視サービス)の契約更新に加え、新規案件獲得に取り組みました。特に、医療機関向けソリューション「NetStare for Medical」やランサムウェア攻撃検知サービス「NetStare for RansomWare」などの新サービスの企画開発やリリースに注力しました。また、子会社LogStareでは自治体や大学での導入が進みました。

しかしながら、新規サービス案件の商談進捗の遅延や導入時期の延期、既存顧客の一部解約などの要因により、計画通りには進捗しませんでした。

以上の結果、売上高は1,098,958千円(前年同期比6.8%増)となりました。営業損失につきましては、仕入価格の上昇や人員拡充、沖縄カスタマーサポートセンター増床や子会社によるセキュリティ運用基盤の研究開発などの経費が嵩み、32,857千円(前年同期は34,782千円の営業損失)となりました。経常損失は、持分法による投資損失の計上により、38,642千円(前年同期は30,769千円の経常損失)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券を売却し特別利益を計上した一方で減損損失を計上したことにより228,958千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失44,039千円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(a) 情報セキュリティ事業

情報セキュリティ事業につきましては、既存顧客とのストック型サービスの契約更新に加え、新規サービスの企画開発、新規案件獲得に取り組みました。売上高は928,767千円(前年同期比5.4%増)となりました。セグメント利益につきましては、人員増や沖縄カスタマーサポートセンター増床などの投資を実施しながらも、78,761千円(前年同期比2.3%増)となりました。

(b) 人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、既存顧客との取引拡大や新規案件の受注により、売上高は170,190千円(前年同期比14.7%増)となりました。セグメント利益につきましては、18,133千円(前年同期比2.3%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当連結会計年度末における流動資産は1,433,998千円となり、前連結会計年度末に比べ442,993千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が431,251千円、前渡金が24,133千円それぞれ増加したことに対し、その他流動資産が15,910千円減少したことによるものです。

固定資産は48,605千円となり、前連結会計年度末に比べ280,892千円の減少となりました。これは、投資有価証券が237,800千円減少したことに加え、減損損失の計上により有形固定資産が35,117千円、無形固定資産が2,279千円それぞれ減少したことによるものです。

以上により資産合計は、1,482,603千円となり、前連結会計年度末に比べ162,100千円増加いたしました。

(負債の部)

流動負債は324,466千円となり、前連結会計年度末に比べ124,847千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が116,120千円、未払費用が9,904千円それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は12,834千円となり、前連結会計年度末に比べ47,996千円の減少となりました。これは、繰延税金負債が45,628千円減少したことによるものです。

以上により負債合計は、337,300千円となり、前連結会計年度末に比べ76,850千円増加いたしました。

(純資産の部)

純資産は1,145,302千円となり、前連結会計年度末に比べ85,249千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が228,958千円増加したことに対し、その他有価証券評価差額金が143,708千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、1,200,740千円となりました。なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、25,931千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益343,771千円、投資有価証券売却益421,417千円、減損損失39,003千円、減価償却費14,567千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、459,153千円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入458,040千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,969千円となりました。これは主に、リース債務の返済による支出1,969千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、政治・経済の情勢、世界的な景気減速リスクなど懸念材料は多く、不透明な状況が続くことが予想されます。

情報セキュリティ市場においては、サイバー攻撃は年々高度化、巧妙化しており、医療業界では厚生労働省が、自動車業界では日本自動車工業会がサイバーセキュリティに関するガイドラインを示すなど、企業には一層のセキュリティ対策が求められるようになってきております。

このような状況を踏まえ、2025年3月期につきましては、重点施策であるパートナーとの連携強化によるアップセルや新規顧客の獲得に注力するとともに、セキュリティ運用基盤の機能強化やクラウドサービス化、サービスラインナップの増強などの施策を実施し、今後の収益拡大に取り組んで参ります。

以上により、2025年3月期の連結業績につきましては、売上高1,240百万円(前期比12.8%増)、主に人員体制強化、新規サービス企画開発、セキュリティ運用基盤の開発、顧客開拓のためのマーケティング等の事業投資により、営業利益50百万円、経常利益48百万円、親会社株主に帰属する当期純利益33百万円を予想しております。

また、上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	769,488	1,200,740
売掛金	145,258	145,812
原材料及び貯蔵品	1,570	2,478
前渡金	40,479	64,613
前払費用	17,588	19,646
その他	16,618	707
流動資産合計	991,005	1,433,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,105	—
工具、器具及び備品(純額)	19,297	—
リース資産(純額)	5,714	—
有形固定資産合計	35,117	—
無形固定資産		
ソフトウェア	2,279	—
無形固定資産合計	2,279	—
投資その他の資産		
投資有価証券	239,939	2,139
長期貸付金	11,500	—
長期前払費用	82	—
差入保証金	40,580	41,607
繰延税金資産	—	4,858
投資その他の資産合計	292,102	48,605
固定資産合計	329,498	48,605
資産合計	1,320,503	1,482,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,907	20,223
リース債務	1,931	2,008
未払金	12,453	14,064
未払費用	36,116	46,020
未払法人税等	8,925	125,045
未払消費税等	14,329	17,371
前受金	87,465	71,351
預り金	8,361	11,661
賞与引当金	15,023	16,719
その他	104	—
流動負債合計	199,618	324,466
固定負債		
リース債務	4,356	2,308
資産除去債務	8,024	8,024
退職給付に係る負債	2,282	1,961
繰延税金負債	46,168	539
固定負債合計	60,831	12,834
負債合計	260,450	337,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	627,580	627,580
資本剰余金	323,782	323,782
利益剰余金	△37,003	191,954
自己株式	△123	△123
株主資本合計	914,235	1,143,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144,937	1,228
その他の包括利益累計額合計	144,937	1,228
新株予約権	880	880
純資産合計	1,060,053	1,145,302
負債純資産合計	1,320,503	1,482,603

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,029,209	1,098,958
売上原価	615,466	655,870
売上総利益	413,742	443,087
販売費及び一般管理費	448,525	475,944
営業損失(△)	△34,782	△32,857
営業外収益		
受取利息	498	961
受取配当金	27	28
持分法による投資利益	5,305	—
補助金収入	2,565	1,710
雑収入	718	185
営業外収益合計	9,114	2,886
営業外費用		
支払利息	184	212
持分法による投資損失	—	6,953
新株予約権発行費	3,500	—
創立費償却	379	—
開業費償却	782	—
雑損失	254	1,505
営業外費用合計	5,101	8,671
経常損失(△)	△30,769	△38,642
特別利益		
投資有価証券売却益	—	421,417
特別利益合計	—	421,417
特別損失		
減損損失	—	39,003
繰延資産償却	2,712	—
持分変動損失	1,729	—
特別損失合計	4,441	39,003
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△35,211	343,771
法人税、住民税及び事業税	4,127	114,785
法人税等調整額	4,701	27
法人税等合計	8,828	114,812
当期純利益又は当期純損失(△)	△44,039	228,958
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△44,039	228,958

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△44,039	228,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,045	△143,708
その他の包括利益合計	△7,045	△143,708
包括利益	△51,085	85,249
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△51,085	85,249
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	627,580	323,782	7,036	△123	958,275
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△44,039		△44,039
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△44,039	—	△44,039
当期末残高	627,580	323,782	△37,003	△123	914,235

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	151,983	151,983	—	1,110,259
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△44,039
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△7,045	△7,045	880	△6,165
当期変動額合計	△7,045	△7,045	880	△50,205
当期末残高	144,937	144,937	880	1,060,053

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	627,580	323,782	△37,003	△123	914,235
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			228,958		228,958
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	228,958	—	228,958
当期末残高	627,580	323,782	191,954	△123	1,143,194

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	144,937	144,937	880	1,060,053
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				228,958
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△143,708	△143,708		△143,708
当期変動額合計	△143,708	△143,708	—	85,249
当期末残高	1,228	1,228	880	1,145,302

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	△35,211	343,771
減価償却費	15,353	14,567
減損損失	—	39,003
繰延資産償却額	2,712	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,282	△320
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,105	1,695
受取利息及び受取配当金	△525	△990
支払利息	184	212
新株予約権発行費	3,500	—
持分法による投資損益 (△は益)	△5,305	6,953
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△421,417
持分変動損益 (△は益)	1,729	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,283	△553
棚卸資産の増減額 (△は増加)	71	△907
仕入債務の増減額 (△は減少)	673	5,315
前受金の増減額 (△は減少)	11,699	△16,114
その他	△1,456	△2,969
小計	△19,469	△31,753
利息及び配当金の受取額	525	990
利息の支払額	△184	△212
法人税等の還付額	—	8,775
法人税等の支払額	△22,083	△3,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	△41,211	△25,931
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,245	△15,359
無形固定資産の取得による支出	△2,580	—
貸付けによる支出	—	△30,000
貸付金の回収による収入	6,000	47,500
投資有価証券の売却による収入	—	458,040
敷金の回収による収入	4,949	—
その他	△403	△1,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,720	459,153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,452	△1,969
新株予約権の発行による支出	△2,620	—
配当金の支払額	△9	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,081	△1,969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△41,571	431,251
現金及び現金同等物の期首残高	811,060	769,488
現金及び現金同等物の期末残高	769,488	1,200,740

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失をベースとした数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	情報セキュリティ 事業	人材サービス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	880,877	148,331	1,029,209	—	1,029,209
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	880,877	148,331	1,029,209	—	1,029,209
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	29,952	29,952	△29,952	—
計	880,877	178,283	1,059,161	△29,952	1,029,209
セグメント利益又はセグメント損失(△)	77,022	17,721	94,744	△129,527	△34,782
セグメント資産	827,630	81,306	908,937	411,566	1,320,503
その他の項目					
減価償却費	15,353	—	15,353	—	15,353
持分法適用会社への投資額	39,897	—	39,897	—	39,897
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	15,006	—	15,006	—	15,006

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)等であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社グループでの現金及び預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	情報セキュリティ 事業	人材サービス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	928,767	170,190	1,098,958	—	1,098,958
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	928,767	170,190	1,098,958	—	1,098,958
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	36,925	36,925	△36,925	—
計	928,767	207,116	1,135,883	△36,925	1,098,958
セグメント利益又はセグメント損失(△)	78,761	18,133	96,894	△129,752	△32,857
セグメント資産	1,170,017	101,143	1,271,161	211,442	1,482,603
その他の項目					
減価償却費	14,567	—	14,567	—	14,567
減損損失	39,003	—	39,003	—	39,003
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	14,215	—	14,215	—	14,215

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)等であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社グループでの現金及び預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	137.74円	148.83円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△5.73円	29.78円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	29.77円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計年度は潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株 主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△44,039	228,958
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純損失(△)(千円)	△44,039	228,958
普通株式の期中平均株式数(株)	7,689,552	7,689,552
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千 円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	1,394
(うち新株予約権(株))	—	(1,394)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	新株予約権2種類 新株予約権の数 4,000個 普通株式の数 400,000株	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。